

若者まちづくり会議

平成28年11月12日(土)ふれ愛支援センターにて



(H28-第2回) を開催しました

自由な雰囲気で見聞が言える場をつくり、若い人たちの新たな視点や発想を市政に反映させる機会を増やそうと始まった「若者まちづくり会議(わかまちカフェ)」も今年で4年目。今年度第2回目を開催しました。

今回は第2回目に向けて第1回目に出た内容に対して「現状はどうなっているか」を聞き出すため、実際にまちに出てアンケート調査を行ない、その結果から、「南魚沼市の将来のために若者ができること」をテーマにワールドカフェ方式でワークショップを行ない、近い将来(5年後)を想定し具体案を出し合いました。



1. わかまちカフェのこれまでの取り組み・今回のテーマの趣旨説明

事務局から、わかまちカフェの取り組み経過とどのように進めてきたか、何故このような取り組みが必要かなどについて説明がありました。

2. 本日のワークショップの説明

ファシリテーターの(一社)まちネット育ちの種 川島亜紀子さんから今日の会議の進め方、ワークショップ(ワールドカフェ方式)のやり方やその効果について説明していただきました。

- ◆ ワークショップの開始に先立ち、アンケート結果をまとめた表から、参加者の関心のあるテーマをシール投票にて選びました。(一人5枚程度のシールを貼る)
- ◆ 多くシールの貼られた、11個のテーマを選びました。このテーマを4テーブルに振り分けました。
- ◆ スタッフが手分けして選ばれたタイトルをテーブルの模造紙に書き込み、テーマに対する現状を付箋に書いて貼りました。
- ◆ 準備が整い、いよいよワークショップの開始です。



関心のあるテーマを見つけるため、じっくり眺め考え、一人5枚シールで投票します。



3. ワークショップの開始です

- ◆ ラウンド1「テーマに対してどんな5年後を予測しますか?」→付箋に書き込み、貼り付けていきます。
- ◆ ラウンド2「テーマに対して課題、具体策、意見などありましたら教えてください」→付箋の色分け(課題→赤、具体策→黄色、意見→青など)に書き込み、貼り付けていきます。
- ◆ ラウンド3「ラウンド2で出された具体策の中から、来年1年間で取り組み可能な策を選び、具体的な実施方法を話し合います。

第1ラウンド

テーブルのテーマに対して、どんな未来(5年後)を想像しますか? 南魚沼市の5年後を考えていきましょう。

第2ラウンド

実現するための課題、具体策、意見などを話し合います。

課題...赤い付箋
具体策...黄色い付箋
意見...青い付箋

第3ラウンド

これから1年間で取り組むこと、実施できることを話し合います。一人で行えること、みんなでできること、市にやってほしいことなど実行可能なこと



4. 最後に、各テーブルの発表です

- ◆ 各テーブルがワークのまとめを発表します。



5. ファシリテーターまとめ

- ◆ ファシリテーターの川島亜紀子さんから全体のまとめの説明と交流会開催の予告があり、第二回目は終了。



□ 第1テーブルの出た意見

2016.11.12
ワークショップ
ホ-10

テーブル①
テーマ「自然」

わかまちカフェ 2回目ワークショップ

シール投票で選んだテーマ	現状	5年後の南魚沼市の姿			課題、具体策、意見など			
<p>豊かな自然がある</p> 	<p>自然が壊れていない</p> <p>豊かな自然がある</p> <p>学校帰りの夕日がきれいである</p>	<p>自然が重要になっている</p> <p>自然や山がとていいところ</p> <p>水がきれい、いい所をアピールしてほしい</p>	<p>自然環境が豊かである</p> <p>山、川、雪が季節を感じて魅力がある</p> <p>川や山が広く、自然と小川あえる</p>	<p>災害により、一部の自然が破壊されている</p> <p>豊かな自然がのびて欲しい</p> <p>緑が少し減っている</p>	<p>里山整備</p> <p>自然を維持する仕組みが湧いている</p> <p>自然環境をインクルーシブにする</p>	<p>防災/障害者、健全</p> <p>くま、いしはら イベント 倉へらう</p> <p>自然の整備 (おまじい、おまじい)</p>	<p>自然環境の調査、モニタリング</p> <p>自然環境の調査、モニタリング</p>	<p>学校の調査、自然環境の調査、モニタリング</p> <p>南魚沼版 ぼんちん朝のうた</p>
<p>美味しい「食」が多くある</p>	<p>お酒、羊がおいしい</p> <p>食の豊か</p> <p>食文化が豊かである</p>	<p>おいしい野菜</p> <p>魚沼米、ハクサイ</p> <p>大崎など「ブランド」が確立している</p>	<p>コシヒカリが継続的</p> <p>南魚沼産コシヒカリのブランドがもたらしている</p>	<p>美味しい食が、もてなされる</p> <p>農業をよめる人がいる</p>	<p>コシヒカリ イベント、ま豆 祭り</p> <p>有機栽培、無農薬</p> <p>農業をよめる場所 住居場所</p> <p>「菜女」</p>	<p>世界のコシヒカリ 世界へ広げる</p> <p>おみやげ コンテス 全国版</p>	<p>おみやげ コンテス 全国版</p> <p>おみやげ コンテス 全国版</p>	
<p>自然を楽しむ人が増えている</p>	<p>坂戸山を登る人が増えている</p> <p>登山者が増えている</p>	<p>自然を楽しむ人が増えている</p>	<p>新しい観光資源が案出され、新しい観光イベントが行われている。</p> <p>カツリノ山が盛り上がる</p>	<p>自然を求めて初任して来る人が増えている</p> <p>自然を楽しむ人が増えている</p> <p>おまじい山を整備して観光地にする</p>	<p>観光客の一部が自然を楽しんでいる</p> <p>身からできて OK</p> <p>自然をよめるイベント</p>	<p>サバドル講座 的なものがあつた</p> <p>アウトドア講座</p>	<p>自然をよめるイベント</p> <p>自然をよめるイベント</p>	

課題→赤い付箋
具体策→黄色の付箋
意見など→青い付箋

第4テーブルで出た意見

わかまちカフェ 2回目ワークショップ

2016.11.12
わかまちセンター2Fホ-16
テーブル④

シール投票で選んだテーマ	現状	5年後の南魚沼市の姿	課題、具体策、意見など
<p>高校卒業後、地域に進学できる学校がない</p>	<p>地元で進学できるところが少ない</p> <p>市内は工業団地や工業高校が少なくて、工業大学が作れれば、東部の優秀な人材が流入する</p> <p>高校以上の学校(大学、短大、専門学校)の進学の仕組み、制度、入居の改善が必要</p>	<p>大学設立期成同盟が地元と行政で組織する</p> <p>地元企業が志望する高校科の設立</p> <p>若者、シニアが生涯学習する南魚の郷が広がる</p> <p>私立大学、専門学校、短大、短大の併設、南魚沼キャンパスが実現する</p> <p>北里学院の系列で北里大学</p> <p>農業高校や農学部(高校)を作る。高専、リハビリ、看護科、地域資源を活かした学科</p>	<p>国際大学に夜間学校(夜間)をつくってもらう</p> <p>行政から大学設立の候補地を採り始める</p> <p>学生工場(シニアと若者の連携)の建設、打診</p> <p>職業訓練校の整備</p> <p>専門学校に地元企業、地域の関係者から入居して授業を行う。南魚沼キャンパス</p> <p>自営自営の資金集めの計画、打診、実践</p>
<p>地域に魅力的な仕事や就職先が少ない</p>	<p>若者が就きたい職が少ない</p> <p>魅力的な仕事や場所が少ない</p> <p>魅力的な仕事や場所が少ない</p> <p>魅力(特産品)のある会社が少ない</p> <p>若者の「戻り」を期待してはならない</p> <p>大きな会社や魅力的な就職先が少ない</p> <p>地元にも条件が合う、興味がある仕事がない</p>	<p>地域の課題をITで解決する都府のIT企業が呼びこまれる</p> <p>ITをつかって自分がやりたい仕事を始めた人が出てくる</p> <p>ル・ティンワークや機械作業がAI等に自動化された暇つぶしビジネスの起業が始まる</p> <p>平均年収が10%アップ(実質)賃金</p> <p>サテライトオフィスが増える</p> <p>若者、シニア子育て世代が自分の時間の中でゆるく働けるチャンスが広がる</p> <p>IT、サービス業、観光、農業、福祉、教育、医療、介護、保育、子育て支援、高齢者支援、子育て支援、高齢者支援、子育て支援、高齢者支援</p> <p>産学連携 ↓ カンパニー ↑ 産学連携 ↓ カンパニー ↑</p> <p>全国規模の企業誘致が進む</p>	<p>必要とする(何が)ITスキルを日増しにする</p> <p>個人経営の多い農家や建設業、IT関連設備の導入方法。</p> <p>IT企業初心者がいかにITスキルを身につけるかを支援する</p> <p>ITを学べる環境を整備する</p> <p>障がい者雇用の拡大を100等の団体で行う必要がある</p> <p>魚野の家、セルフサービス工房、定員の拡大、地域の施設建設(希望者)</p> <p>試用期間がある企業が少なくて、企業間の連携が必要</p> <p>障がい者雇用の拡大を100等の団体で行う必要がある</p> <p>モノづくりをPRする!(工業団地での特産品加工はナカニヤ?)</p> <p>PRの場を確保する。何処? 何? ミニシアター?</p> <p>定額賃金下アップ、新入社員は働き方改革(実質減)会社が</p> <p>行政が企業誘致を進める(今以上)</p> <p>南魚沼市出身者の企業へのリターンを促す</p>

課題→赤い付箋
 具体策→黄色の付箋
 意見など→青い付箋

□ 参加者の感想・ふりかえり

わかまちカフェ 第2回 ふりかえりシートまとめ

H28.11.12実施

【今日、学んだこと】

色々な人の意見を聞くことで学べた

- ・2回参加をして、市のことを考える機会が増えました。現状を見て、自分が、そして皆で何ができるか、できそうか、考えること、しゃべること、とても大事とあらためて思いました。
- ・色々な人の考え方が前回よりも良く分かりました。
- ・前回に比べ、具体的な意見や解決策が交わされ、自分とは違う年代の方の考え方を学べた。
- ・皆、様々な持っているが、なかなか発表する場がない。移住者の悩み
- ・たくさんの方の多様な発想。今日はちょっと斜め上から意見を出そうと思ったが、それ以上のものがたくさんある。
- ・自分の意見だけではなく他人のアイデアで役に立ちそうな意見を聞くことが出来た
- ・色々な方の色々な意見が聞けて、自分の学べてこれなかったことに気付いた。
- ・人から聞いて「なるほど！」と思えることが自分だけで考えるとほとんど出てこないことがわかった。こういった意見交流はとても大切と改めて感じた。
- ・普段は会うことのできない人たちから意見（特にアイデアが豊か！）が聞けたこと。
- ・「公共料金が低い」という難しいテーマだったけど、色々な意見やアイデアがワークショップ中で出てすごいな！想定外の意見が出てくること。

やり方、進め方を学べた

- ・テーマ→現状→5年後→具体化という考え方が参考になった。
- ・交流、自然を使ったイベント案
- ・「〇〇年後」など期限を決める、条件を加えるといった時の思考の切り替え方、アイデアの出し方には柔軟な考え方や様々な情報の蓄積が必要なのだと学びました。
- ・南魚沼市には、たくさんの方の課題があり全体で取り組んでいく必要があることが分かりました。
- ・今すべき事、これからできる事を知る為の中期的ビジョンを明確にすること。
- ・テーマについて、色々な人が関心することで色々な意見が出やすくなるということ。
- ・テーマを与えられたら突っ走るのではなく、一旦テーマを精査することも大事だと思った。
- ・ひとりひとりが行動することが大切だということがわかった。
- ・1つのテーマでも人によって考え方が異なる部分もあれば重なる部分（共感できる）もあった。
- ・1人で考えても思いつかないが、人の話を聞くと新しいアイデアが浮かぶ
- ・人の意見を誰が見ても分かる文章にすることは難しい
- ・視点をかえることで可能性が広がること

その他

- ・やはり公共料金は高い
- ・一人では何も出来ないこと
- ・市として色々な情報を発信しているつもりだが、受け手は発信元がバラバラだったり不満があることが分かった。認識のズレをなくし、欲しい情報がすぐ入るようにしたい

【あなたが今日、よかったこと、残念だったことは？】

◆よかったこと

色々な人の意見を聞くことができた

- ・よかったことは、たくさん自分では思いつかないような案などを聞けたこと。
- ・よかったことは、出たアイデア（ふせん）の数が多かったと感じました。
- ・たくさんの方の意見が聞けて良かったです。
- ・自分でも色々なことについて考えることはないから、役に立ちそうな気がした。
- ・移動形式だったので、より多くの方と話せた。非常に個性的な意見が聞けた。
- ・色々な人の意見が聞けて参考になった。
- ・色々な意見を聞けたこと。
- ・テーブルを移動するやり方が良かった。
- ・南魚沼の自然は愛されている。良かった。
- ・自分にはない発想を聞けたことが良かった。
- ・課題＜具体策だったこと
- ・色々な意見が出てきて楽しかった。
- ・参加出来て良かった

意見を言うことが出来た

- ・日頃の経験を活かした意見が出せたこと

交流ができた

- ・色々な方と交流ができたこと。
- ・色々なグループを回ることで、多くの人と交流ができた。

取り組みのきっかけが出来た

- ・イメージから具体的な取り組みそうなことが少しできたこと。

参加者に関して

- ・一回目に参加された人が、二回目も参加してくれたこと。
- ・よかったこと、リピーターが何名かできたこと

スタッフの役割として

- ・人の意見を否定することがなかった。
- ・ライターとして初めての参加だったが、うまくまとめられてよかった

◆残念だったこと

具体案が出せなかった

- ・実を結びそうな言葉から具体策を拾い出せきれなかったこと。
- ・一年後取り組める事になったとたんに意見を出さずアイデアが浮かばなかったのが残念でした。

時間が足りなかった

- ・せっかくなのですべてのテーブルが回ると面白かった。
- ・色々なグループを回ることで、多くの人と交流はできたがその分密度がなかった。
- ・時間が足りない場面があった。
- ・話し合いの時間が増えるのもっと良くなると思います。

アイデア出しに関して

- ・公共料金を下げる良いアイデアはない。残念
- ・アイデアを出しきれなかった。
- ・3ラウンドでなかなか考えを出せなかったこと

参加者に関して

- ・学生が不参加だったこと。
- ・ちょっと議論が内向的かなと・・・。モニターとして市外の人を招いて意見を聞けたらなと思った。
- ・高校生が来れなかったのが残念だった。

スタッフの役割として

- ・上手く要約が出来ず残念
- ・発表のときにあがったことが残念

その他悪い残念なことは？

- ・熊、猪はイベントですでに食べているところがあります。自然豊かを市外からのお客さんにPRするにもよい方法、インパクトだと思います。
- ・魚沼市でもコミュニティマネジメント塾でコミュニティ同士のつながりをつくらうとしています。
- ・井のまち"南魚沼"をどンドン押ししていこう！
- ・人口減少問題を考えた時、移住者は欠かせない、ぜひ移住者目線の議論も！
- ・何かを実行するときに、さまざまな人に役割分担できると良いと思った。委員会に高校生を入れてみたりなど

賛同、労いの意見

- ・またこういうことをやって欲しいです。
- ・開催にあたっての準備等毎度ご苦労様です。
- ・言いたいことは全部言えました。ありがとうございました。
- ・こういう活動が市民レベルで広がると良いと思います。
- ・スタッフのみなさんお疲れさまでした。

その他

- ・書ききれません
- ・後は交流会で話そうかと思います（今は思いつきません）